

報告事項 シ

平成24年度文部科学大臣表彰について

平成24年度文部科学大臣表彰について、別紙のとおり報告します。

平成24年10月19日

鳥取県教育委員会教育長 横濱純一

平成24年度地方教育行政功労者表彰被表彰者について

教育総務課

1 表彰趣旨

地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員に対して、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資するため、文部科学大臣が表彰するもの。

2 被表彰者、表彰式

<被表彰者> 永田 武 (67歳) 琴浦町教育委員会教育長 矢吹 奎 (79歳) 南部町教育委員会委員長	<表彰式> 日時 10月17日(水)12時20分から 場所 東京都千代田区「文部科学省講堂」
--	--

3 被表彰者の主な功績

永田 武 (ながた たけし)	
略歴	琴浦町教育委員会教育長 (平成16年10月から現在)
主な功績	○学校教育 温厚誠実にして明朗闊達、深い教育愛と高い教育理念を持ち、優れた識見と卓越した指導力をもって学校教育の推進にあたり、教育実践と教育行政に鋭意専心した。 時代の変遷する中、児童生徒・教職員とも安心して学べる環境作りに努めた。地域の良さや地域に暮らす人々の生き方を教材化する取組や、公民館やPTAと連携した取組を充実させ、地域に根ざした教育活動を推進した。 さらに、学校現場での食育に力を入れ、「安心・安全な給食」をはじめ、学校関係者、学校栄養教諭、学校栄養職員が授業や給食指導にかかわり、食に関する指導の一層の充実を図るようさまざまな機会を通して食育への啓発に力を注いでいる。 ○社会教育 学校教育と社会教育の連携の重要性を認識し、親子のふれあいを持つことで子どもの自尊感情を育むため、子育ての合言葉として「10秒の愛」運動の推進を図った。 ○文化事業の振興 国の特別史跡である「斎尾廃寺跡」の重要性を広く伝えるため、保存だけにとどまらず文化財への幅広い活用や啓発等に力を入れた。 ○人権・同和教育 本町の人権教育の推進にあたり、人権課題である部落問題の解決へ向けた取組が引き続き重要であることを明確にし、本町において「人権教育」を「人権・同和教育」と定義付けし、部落差別をはじめあらゆる差別のない、すべての人の人権が尊重されるまちづくりのための教育啓発活動に尽力している。
矢吹 奎 (やぶき けい)	
略歴	旧西伯町教育委員会委員 (平成15年10月から平成16年9月) 南部町教育委員会委員 (平成16年10月から平成23年12月) 南部町教育委員会委員長 (平成16年12月から平成23年12月)
主な功績	○教育行政 氏は、平成16年10月1日の新町発足に伴う西伯、会見両町の教育行政施策の統合、調整にリーダーシップを発揮し、南部町教育行政への円滑な移行、並びに新しい町の教育行政施策の骨格づくりとその推進に教育委員長として大きな成果を残した。 ・「コミュニティ・スクール制度の導入による新しい学校づくり」 地域の教育力を見直し、地域住民との心合わせ、力合わせによる課題解決を模索し、具体策として「コミュニティ・スクール(本町では「地域協働学校」という。)」の導入を積極的に推進し、文部科学省が推進している「地域とともにある学校づくり」の基盤を作りあげた功績はきわめて大きい。 ・「一人ひとりの子どもを大切に不登校対策の強化・充実」 不登校児童生徒の出現率が県内でも高い傾向にあったことから、学校に行きたくても行けない児童生徒の心に寄り添い、義務教育を保障する観点から、不登校児童生徒(傾向含む)の徹底した現状把握と学校の指導体制、関係機関との連携強化を推進し、平成19年度には南部町教育支援センター「さくらんぼ」の立ち上げにリーダーシップを発揮し、当該児童生徒の居場所づくり、支援体制の構築に意を注いだ。 ・「南部町「教育の日」条例の制定(平成20年3月31日制定)」 生涯学習のある町づくりをすすめる観点から、町民一人ひとりの教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを愛する心豊かでたくましい子ども達を育成し、生涯にわたって、自ら学ぶ人づくりを進め、教育の充実と発展を図ることを目的とした「教育の日」制定の意義について、教育委員長として率先して取り組みリーダーシップを発揮した。 ・「教育環境の整備充実と地域社会との連携」 急がれる耐震対策や老朽化対策が必要な学校施設の現状から早急な対応を強く訴え、教育委員長在任中に、全ての小中学校の耐震補強並びに大規模改修工事を完了させた。また、学力に係る校内情報の保護者や地域への公表、地域と連携した安全・安心な登下校体制の構築等、学校と地域との新しい関係づくりにリーダーシップを発揮した。

## 平成24年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰について

平成24年10月19日  
スポーツ健康教育課

### 1 表彰の趣旨

地域又は職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、もって地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及び団体を文部科学大臣が表彰する。

### 2 表彰式

- (1) 日 時 平成24年10月5日(金) 午後2時15分～午後3時  
(2) 場 所 中央合同庁舎第7号館3階講堂(東京都千代田区霞ヶ関3-2-2)

### 3 本県の受賞者(団体)及び功績等

#### (1) 生涯スポーツ功労者

氏 名	山 中 幸 (やまなか みゆき)
役 職	鳥取ジュニアR G (新体操ジュニアクラブ) 代表 鳥取県体操協会新体操女子強化部長
主要経歴	・昭和60年4月～現在 鳥取西高新体操部監督 ・昭和63年4月～現在 鳥取ジュニアR G代表 ・平成15年4月～現在 鳥取県体操協会強化部長
功 績	長年にわたり本県新体操競技の指導者として競技人口の拡大と選手強化に尽力した。 鳥取西高校新体操部の指導者として、インターハイ、国体に導き、多くの入賞実績を残し、全国レベルの強豪校に育て上げた。 自らジュニアクラブを設立し、幼児から高校生まで一貫指導に基づく選手育成に尽力した。

氏 名	善 波 周 (ぜんなみ まこと)
役 職	鳥取県セーリング連盟 副会長 境港市体育協会 副会長
主要経歴	・昭和53年4月～平成22年3月 現・境港総合技術高校 ヨット部顧問 ・平成5年4月～平成22年3月 鳥取県セーリング連盟 理事長 ・平成22年4月～現在 鳥取県セーリング連盟 副会長 ・平成22年4月～現在 境港市体育協会副会長
功 績	セーリング指導者として卓越した指導力を発揮し、競技力の向上に優れた実績を残した。 セーリング普及のために小学生ヨット教室を中心となって開催し、競技人口の拡大に尽力した。また、境港市体育協会副会長として、セーリングに限らず地域スポーツ全般の振興に大きく貢献している。 県セーリング連盟副会長として組織内を統括することに尽力し、本県セーリング競技の発展に寄与している。

氏名	岩 垣 毅 (いわがき たけし)
役職	日本バドミントン協会評議員 中国地区バドミントン協会副理事長 鳥取県バドミントン協会理事長
主要経歴	・昭和61年4月～平成16年3月 鳥取県バドミントン協会副理事長 ・平成16年4月～平成19年3月 鳥取県バドミントン協会理事長補佐 ・平成19年4月～現在 鳥取県バドミントン協会理事長
功績	長年にわたり、日本バドミントン協会公認指導員として小学生から高校生までの多くの選手を指導し、バドミントン競技の普及に努めた。 鳥取県バドミントン協会の要職を長年務め、近年は国体や全日本クラスの大会等で入賞者を多数輩出するなど、競技力の向上、選手育成に貢献した。 中国地区審判委員長として、数多くの全国的な大会の成功に寄与した。

氏名	高 橋 伸 也 (たかはし のぶや)
役職	総合型地域スポーツクラブ「D o. スポーツ」事務局長 日野町スポーツ推進委員会会長 日野町体育協会理事
主要経歴	・平成19年4月～現在 総合型地域スポーツクラブ「D o. スポーツ」事務局長 ・平成23年9月～現在 日野町スポーツ推進委員会会長 ・昭和59年4月～現在 日野郡体育協会理事
功績	長年にわたり、クラブの中心として積極的に活動し、地域の活性化並びに地域スポーツの普及・振興に貢献した。 自クラブの育成のみならず、他のクラブと積極的に関わり、県西部地区を中心に自らの経験に基づいて指導を行うなど、県全体の充実に向けて尽力し、生涯スポーツの普及・振興並びに鳥取県総合型地域スポーツクラブの普及・発展に貢献した。

## (2) 生涯スポーツ優良団体

団体名	鳥取県相撲連盟 (鳥取市)
代表	会 長 淵本 寿博
功績	競技の普及や競技人口の拡大、組織の発展等に取り組み、スポーツの振興に大きく貢献している。 県内の行事、地域の祭りでの相撲大会など、地域主催の大会や行事、イベントに選手及び役員を派遣して、地域交流の活動を積極的に行っている。 大会招致にも力を入れており、過去には全日本実業団相撲選手権大会を招致している。また平成22年度は西日本選抜女子相撲大会(富桑・市営相撲場)や全国中学校相撲選手権大会(県民体育館)を開催し成功させている。 相撲競技は、永年にわたり全国の上位に入賞を繰り返している。特に昨年度は第66回山口国体相撲競技総合優勝など、多数の優勝、入賞の実績がある。 日本代表として世界大会・世界ジュニア大会で活躍する選手を多数輩出している。また女子相撲にも力を入れており、世界大会や全国大会で活躍する選手も輩出している。

団体名	伯耆町スポーツ少年団（伯耆町）
代表	本部長 後藤 弥
功績	<p>単位団の活動については、認定指導者を必ず配置し、安全を重視した活動に努めている。また、町や体育協会等が主催する研修や講習に指導者や母集団も積極的に参加するように心がけ自己研鑽に努めている。</p> <p>野球やミニバスは主催大会や教室等を開催し他県の団と積極的に交流を図っている。スポーツ少年団の理念に基づき、地域活動（体育施設清掃等）などを通して精神を養うなど青少年の健全育成に尽力している。</p> <p>平成24年度からは、総合型地域スポーツクラブ（ほうきスマイリースポーツクラブ）に全ての団員が入会して、共に連携を図りながら、単一の種目ではなく様々なスポーツを体験できる環境を提供するなど、活動内容の充実に努めている。</p>

団体名	湯梨浜町スポーツ少年団（湯梨浜町）
代表	本部長 土海 孝治
功績	<p>単位団の活動については、認定指導者を必ず配置し、安全な活動に重点を置いた活動を行っている。また、保護者も指導者任せにならず、団ごとに育成会を形成し団員の指導及び青少年育成に取り組んでいる。</p> <p>町や各体育協会等の主催する研修や講習に指導者及び母集団も積極的に参加し、自己研鑽や指導に関する資質向上、人材育成に努めている。また、スポーツ少年団の理念に基づき、地域活動（体育施設清掃等）などを通して精神を養うなど青少年の健全育成を行っている。</p> <p>町主催全国大会（ジュニアグラウンドゴルフ）等にも積極的に参加し他県の団との交流も図っている。また、町駅伝大会を団交流大会とし、他団との交流も図っている。</p>

## 平成24年度学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰について

平成24年10月19日  
スポーツ健康教育課

### 1 表彰の趣旨

学校保健及び学校安全の普及と向上を図るため、これらに関し優秀な成果をあげた学校保健及び学校安全関係者を文部科学大臣が表彰する。

### 2 被表彰者

＜学校保健関係＞

- ・ はしもと ひでのぶ  
橋本 英宣 (学校医) 鳥取市立岩倉小学校学校医
- ・ たなか きよし  
田中 潔 (学校医) 鳥取県立倉吉養護学校学校医

＜学校安全関係＞

- ・ 該当なし

＜学校安全ボランティア活動奨励賞関係＞

- ・ 該当なし

### 3 功績概要

<p><small>はしもと ひでのぶ</small> 橋本 英宣 (学校医) 73歳</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通算31年有余の長きにわたり、児童生徒の健康診断と予防接種並びに保健指導にあたるほか、健康診断時以外でも積極的に学校等に出掛けていき、関係者との連携を密にし、豊富な識見を踏まえて保健指導にあたっている。</li> <li>・ また、心電図検診等を通じて突然死の予防を図るとともに、各種疾患の早期発見と治療に尽力しているほか、生活習慣病対策、環境衛生の整備による感染症対策等に指導力を発揮している。</li> <li>・ 更に、学校保健委員会を活用して、学校長、養護教諭、保健体育主事等との連携を図って教育現場での健康教育の重要性を認識し、日常生活における健康管理の方途を示して、発育期にある児童生徒の健全育成に率先尽力している。</li> <li>・ この他、東部医師会にあっては、役員・代議員等として医師会内部の学校保健活動推進の機運を盛り上げ、学校保健活動を含めた地域保健活動に尽力している。</li> </ul>
<p><small>たなか きよし</small> 田中 潔 (学校医) 65歳</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 28年の長きにわたり、学校医として疾病予防と各種疾患の早期発見、治療に尽力している。特に、専門分野である精神科医として児童虐待を受けた子どもの二次障害等に積極的に関与し、子どもの心身の安定を図る等効果をあげている。</li> <li>・ 平成18年度のノロウイルス集団発生時には、適切な指導助言により、担当校の感染症予防体制確立に寄与した。平成21年度の新型インフルエンザ流行に際しては、いち早く講演等の啓発活動を積極的に進め、感染症予防の基本的な考え方を教職員に徹底したため、担当校の感染症予防体制がさらに強化され『集団感染ゼロ』を達成した。その対応は、県内の学校にとって参考になるものであった。</li> <li>・ 近年、子どもたちの障がいの多様化、重度・重複化は急速に進み、専門医との連携は必須の状況となっている中、個々の疾病について健康相談に応じるとともに、児童生徒の個別の支援を総合的に話し合うケース支援会議や学校保健委員会において、的確な指導助言を行い、幅広く学校保健の推進と向上に貢献した。その成果として、担当校は「平成23年度21世紀・新しい時代の健康教育推進学校最優秀校」(後援：文部科学省・厚生労働省)を受賞した。</li> <li>・ また、担当校の教職員に対しては健康管理担当医として、さらに県下の教職員を対象とした鳥取県教育委員会職員審査委員として、全県の教職員の心身の健康管理に貢献した功績は顕著である。</li> </ul>

### 4 表彰式

- ・ 日 時 平成24年11月8日(木) 午後1時から
- ・ 会 場 熊本市市民会館(熊本市中央区桜町1-3)
- ・ 第62回全国学校保健研究大会において表彰